

# 学校長あいさつ



大町南小学校長 縣 邦彦

～ 挑戦しよう やってみよう ～  
「子どもの主体性が発揮される楽しい学校」をめざして

本校の卒業生にリオ・オリンピック銅メダリストの奥原希望選手がいます。誰もが奥原選手のようになれないかもしれませんが、誰でも自分なりの夢に向かって努力することはできます。そのために環境を整え支援していくことは、私たちの責務です。子どもの思いや願いを真ん中に据え、寄り添い、一人一人のよさや可能性を引き出すことができる教師でありたいと思います。未来を担う子ども達が自分の夢に向かって前進し、自己有用感を高めながら、よりよい社会を創る担い手となることを願い、本校では「子どもの主体性が発揮される楽しい学校」を経営理念に据えました。本年度は「挑戦しよう、やってみよう」を合言葉とし、一人一人のよさや違いを伝え合い認め合う授業を通して可能性を伸ばし、主体的な子どもの育成をめざします。

本年度は、毎時間の授業において、子どもの主体性が発揮され可能性を引き出せるように、「学びづくり」と「環境づくり」を大切にします。

「学びづくり」では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、友と力を合わせて解決したくなる授業づくりを進めます。低学年から友の疑問や考えをしっかりと聴きとる力を培い、友から認められたり課題を解決したりして得られる成功体験を通して、自己有用感が高まる学び合いをめざします。

「環境づくり」では、子どもがやってみたくなるような環境づくりに力を注ぎます。特にユニバーサルデザインの視点から、子どもの躓きを予想して具体的な支援・指導を講じます。人的・物的に安心して学びに向かうことができる環境を整えていきたいと思います。

また、「常盤(地区)」の皆様の本校に寄せるお気持ちをしっかりと受け止めながら、子育てのよきパートナーとして地域との協働を進めます。そのために学校内外に「あいさつの南小」を広げていきます。そして、「常盤(地区)」で育ち、南小で学んだことに誇りを持ち、「自分が好きで、学校が好きで、常盤が好き」と言える子ども達の育成をめざします。

主体的な自己の学びを自覚し、可能性が開花する笑顔の学校の具現のためには、個々が持つ専門性や経験を最大限に活かす職員集団を構築することが大切です。課題や悩みを共有・共感するとともに、一人一人が自律的な歯車となり、歯車同士がしっかり伝導し、子ども達のために学び続ける職員集団「チームみなみ」として一枚岩になり、この1年間を歩んでいきたいと思います。

平成 31 年4月 1 日